

## 令和三年度草の根・人間の安全保障無償資金協力に係る署名の実施

3月7日及び8日、令和三年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件5件の実施にかかわる署名式が大使公邸にて行われました。各案件の内容は以下のとおりです。

### 1. チルマンズ郡トクウェ第四中等学校校舎及びトイレ建設計画

NGO団体「地方イニシアティブ及び開発機構」が約980万円の前算で、トクウェ第4中学校において教室2棟、トイレ2棟を建設するものです。同校では現在156名の生徒に対して2教室しかないため、木の下で勉強したり、交代で教室を使用したりして、集中して勉強する環境が確保されていません。同地域の子どもたちが一人ひとりの可能性やタレントを発揮するために、生徒が安心して学習に取り組める環境を整えることを目指しています。



当館とLID Agencyで事業契約書に署名

### 2. 「中央マジョナランド州における地雷除去計画」

NGO団体の「ヘイロー・トラスト」が、約720万円の前算で、中央マジョナランド州ルシガ郡の計150,000平方メートルを対象に地雷撤去作業を実施するものです。日本政府は7年間に渡りジンバブエにおける同団体の活動を支援し、これまで1,300万平方メートルにおいて、2万7千個以上の地雷を除去し、住民に安全な土地を提供しました。ジンバブエ政府は2025年までに地雷ゼロの国になることを目指しており、本事業はこの目標達成に大きく貢献します。



当館とThe HALO Trustで事業契約書に署名

### 3. 西マシヨナランド州フルングウェ県における女性の経済的自立のための灌漑施設建設計画

NGO 団体「4-H ジンバブエ財団」が、約1千万円の予算で、西マシヨナランド州フルングウェ県の8箇所の農地において、ソーラーポンプ付きの井戸、灌漑設備、農地用フェンスを設置するものです。対象地では、気候変動の影響を受け雨量が年々減る中、天水に頼る農業では自分たちの食糧を確保することも難しい状況に陥っています。今回の支援で井戸や家畜から農作物を守るフェンスを設置することにより、女性農業グループが営農する農地の用水を確保し農業生産の向上を図るとともに、近隣住民の生活用水が確保されます。事業実施後に、農業女性グループが持続可能な農業の技術を得て、自分たちの食糧を確保し、作物販売によって現金収入が得られることを目指しています。



当館と4-H ジンバブエ財団 で事業契約書に署名

### 4. マシngo州ザカ郡ムシソミッション病院における臨床化学分析装置整備計画

実施 NGO 団体「ソリダールメド・ジンバブエ」が、約3百万円の予算で、病気の検査に必要な臨床化学分析装置をマシngo州ザカ郡にあるムシソミッション病院に整備するものです。同病院では同装置を保有していないために、周辺の患者は検査を受けるためには時間と交通費をかけて遠方の病院へ行く必要があり、検査を諦めて症状が悪化するケースが多く生じています。今回の支援で日本製の分析装置が設置されることにより、安価で質の高い検査を受けることができるようになります。



当館とソリダールメド・ジンバブエで事業契約書に署名

## 5. ブラワヨ市における若者のレジリエンス向上のためのカウンセリング及び職業訓練センター建設計画

NGO 団体「ミリオンメモリープロジェクトジンバブエ」が、約720万円の予算で、ブラワヨ市において HIV 陽性者を中心とした若者が、カウンセリングや職業訓練（起業に必要な会計知識、養鶏や農業等の技術研修）を受ける施設を建設するものです。同地域では若者の雇用が少なく、精神的なサポートを行う環境もないため、若者が犯罪や麻薬、飲酒に手を出しやすい環境があります。そのため、同施設建設にて、心理的なカウンセリングや職業訓練を行い、若者が自分の力で生きていく力を育てます。



当館とミリオンメモリープロジェクトジンバブエで事業契約書に署名

署名式において田中大使は、案件の成功にはコミュニティの当事者意識が必要不可欠であること、実施 NGO には、透明性が高く、効果的な事業の円滑な実施を期待すること、また、3月8日が国際女性の日であることに触れ、今回の支援が各地域の少女や女性の地位向上につながることを期待していると述べました。



事業団体の集合写真